

第18回 草加市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和元年5月27日（月）午後2時から

2 開催場所

市役所 本庁舎西棟5階第1・2会議室

3 出席者の氏名

(1)委員	草加市副市長	小谷 明 委員（会長）
	東海大学元講師	山川 仁 委員（副会長）
	埼玉県企画財政部交通政策課	柳 政男 委員
	草加警察署交通規制係	上野 聡 委員
	東武バス労働組合	加藤 秋男 委員
	関東運輸局埼玉運輸支局	青木 宏之 委員
	（福）草加市社会福祉事業団	大熊 茂 委員
	（福）草加市社会福祉協議会	小野 秀樹 委員
	草加市すこやかクラブ連合会	森 博 委員
	（旧）草加市連合婦人会	大谷 久美子 委員
	草加市町会連合会	榎本 武彦 委員
	東武鉄道（株）	小瀧 氏（代理）
	（一社）埼玉県乗用自動車協会	三上 秀樹 委員
	国際興業（株）	野田 氏（代理）
	朝日自動車（株）	石倉 氏（代理）
	東武バスセントラル（株）	深津 光市 委員

(2)欠席者	（一社）埼玉県バス協会	鶴岡 洋 委員
	草加市タクシー協議会	吉田 隆彦 委員
	草加商工会議所	石井 武 委員

(3)事務局	草加市 石倉市民生活部長
	草加市 菅沼市民生活部副部長
	草加市 石鍋交通対策課長
	草加市 井田交通対策課課長補佐
	草加市 勝田交通対策課交通政策係長
	草加市 田山交通対策課主事

(4)傍聴者 0人

4 会議の議題

報告（1）コミュニティバス実績報告
報告（2）新規コミュニティバス新田ルートの進捗状況
議事（1）消費税改定に伴う対応について

5 配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料－1 「コミュニティバス利用状況」
- ・ 資料－2 「新規コミュニティバス（新田ルート（仮））について」
- ・ 資料－3 「消費税改定に伴う運賃改定案」
草加市公共交通再編計画（コミュニティバス定義部分の抜粋）

6 委員会運営に当たっての諸事項

- ・ 本委員会の録音及び会議録の署名、公開について委員の了承を得た。
- ・ 会議録の署名委員については、名簿順に持ち回りで会長、副会長と、代理の方を除いて名簿の上と下から2名ずつ指名させて頂くことになっているため、東武バスセントラル（株）深津委員、埼玉県企画財政部交通政策課 柳委員が署名委員の指名を受けた。

報告（1）コミュニティバスの実績報告

- ・草加市コミュニティバス「パリポリくんバス」北東ルート・南西ルートの最新の利用状況について報告した。
- ・北東ルート、南西ルート共に年々利用は増加している。
- ・北東ルートは設定ラインを達成しているが南西ルートは設定ラインの達成まで1便当たりあと約3人の利用が必要である。
- ・南西ルートは北東ルートに比べ運行距離が長いので、設定ラインを達成するためにはより多くの利用が必要になる。
- ・各ルートの特徴として北東ルートはそうか公園から獨協大学前駅までの利用が多く、南西ルートは複数の駅を経由するため、各駅までの短距離の移動が多く、利用が分散している。
- ・より多くの方に利用してもらうため、4月27日（土）に春の子どもフェスタに参加し、バスの乗り方教室を行った。今年はパリポリくんバスだけでなくタクシーやオリンピックの啓発も行った。

会長（小谷会長）

- ・事務局から説明がありました。まとめますと北東ルートは設定ラインをクリアしていますが、南西ルートは距離が長いのでコスト的なことを考えると北東ルートとは違い、人数は乗っているけれど設定ラインまでは届いていないという状況でございます。
- ・公費を出しているコミバスですので、もっと多くの方に乗ってもらうために利用促進策についても事業者さんと一緒に実施しているという報告になります。
- ・皆様から数値的な部分も含めてなにかご質問等ございましたらよろしくお願ひします。

草加市町会連合会（榎本委員）

- ・私は北東ルートを利用していますが、北東ルートの目標まであと7人というのはひと月あたり7人なのかバス1台に対してあと7人なのか教えていただけないでしょうか。我々も住民に対して周知をしていかないといけないので教えてほしい。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。それでは事務局からお願いします。

事務局

- ・バス一台あたりあと7人乗る必要があることを示させていただいております。

会長（小谷会長）

- ・いかがでしょうか 他に何かありますか。

大谷委員

- ・榎本さんとは反対の南西ルートを利用しています。こちらは利用が分散しておりまして、バス停で待っている人は多く、人数的には利用が多いのですがどうしても短距離の移動が多く、手代のほうからも草加駅までの利用が多い。既存のバスとも重複している箇所があり、既存のバスを利用する場合もある。極力パリポリくんバスを利用するようにしている。今後も周知等努力します。

会長（小谷会長）

- ・事務局からいかがでしょうか。

事務局

- ・事務局としてもパリポリくんバスがより利用されるよう、今後も様々な利用促進策を行っていく。

会長（小谷会長）

- ・他にいかがでしょうか。なければ次の報告（2）新規コミュニティバス（新田ルート）進捗状況について事務局から説明をお願いします。

報告（２）新規コミュニティバス新田ルートの進捗状況について

- ・新田ルートについてこれまでの検討状況について資料を用いて説明を行った。
- ・資料に示したように、バス停の位置は既存のコミュニティバス同様に既存の路線バスや公共施設などを考慮しながら約300mごとに配置した。今後この位置図の位置を基本として地先の交渉を進めていく
- ・今後バス停の地先交渉等を行い、運賃の目安等を作成したのちに8月下旬あたりに次回の会議で審議を行う予定である。運行開始は今年度の秋～冬を予定している。

会長（小谷会長）

- ・委員の皆様にはこれまでもこの会議の中で新田ルートについていろいろご審議いただきおりましたが、今年度遅くなりましたけれども実現ができる運びになりました。本当にありがとうございました。新田西部地域につきましては交通不便地域に位置付けられていまして議会や市民からもいろいろお話をいただき、これまで検討させていただいたところでございます。多くの市民の足として運行できるよう、今年度ルート・バス停などについてしっかり調整をしていきたいと思っております。
- ・今の説明を受けまして何か質問等ありましたらご遠慮なくお願いします。

特になし

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。報告につきましては以上になりますが、次に今回の会議の議事ということで、消費税の改定に伴う対応ということになります。事務局から説明をお願いします。

議事（１）消費税改定に伴う対応について

事務局

- ・草加市地域公共交通網形成計画の12ページのコミュニティバスの定義について説明を行った。草加市コミュニティバスは草加市公共交通再編計画に基づき、新たに導入するバス路線で、既存路線バスを補完・連携するものと位置付けられている。導入にあたって、経路・運賃等の作成の際は既存バス路線と整合を図ることとされている。
- ・既存バスについては消費税の改定に伴い、運賃の改定を行う予定であることを事前に聞いている。草加市コミュニティバスについても既存バスが運賃の改定を行った場合、既存バスと整合を図り運賃の改定を行う方針でよいか確認を行った。
- ・改定の時期は既存バスと合わせる。

会長（小谷会長）

- ・事務局から消費税の改定に伴うコミュニティバスの運賃の対応について説明がありましたが、事業者さんで既存バスの改定運賃の公表の時期など決まっていたら教えていた

だけませんか。

東武バスセントラル（株）（深津委員）

- ・まだ決まっていない。

朝日自動車（株）（石倉氏（代理））

- ・まだ決まっていない。

国際興業（株）（野田氏（代理））

- ・まだ決まっていない。

会長（小谷会長）

・草加市のような市街地にコミュニティバスを走らせると、どうしても既存の路線バスと競合してしまう状況になってしまいます。既存路線バスの廃止を防ぐためにコミュニティバスは既存の路線バスを補完し、料金体系については整合を図ることを定義として草加市の計画の中で謳っております。そのため今回の消費税の改定の際も運賃を既存の路線バスと合わせていきたいという話をさせていただきました。

- ・これについて皆様から何かありますでしょうか。

大谷委員

・運賃が上がるのはコミュニティバスの定義を考え妥当なことだと思うし、既存バスもパリポリくんバスもつぶれないように同じレベルの運賃を検討することが大切だと思います。

社会福祉事業団（大熊委員）

・現金運賃と IC 運賃の差がない区間がある。そもそも IC 運賃というのは利便性向上という目的で差を設けていると思うが、一部 220 円区間のところが現金運賃と IC 運賃が同額なのはなぜか。

事務局

・バス会社をはじめとした公共交通の運営会社の考え方ですけれども、基本的には運賃は 10 円単位の計算となっており、ある程度は切り上げ・切り下げの計算をしている。JR や私鉄各社そうなのですけれども、計算したらたまたま現金運賃と IC 運賃が同額ということはたまにあるそうです。

会長（小谷会長）

・IC 運賃は結構複雑な計算方法がありまして、今回提示した運賃は適正な計算を行いこのような結果となっている。

埼玉運輸支局（青木委員）

・先ほどの現金運賃と IC 運賃が同額になってしまう件についての説明はその通りで、結局 2% しか変わらないので、上げ下げの関係で同額になってしまうことは発生する。基本的に

は現金運賃と IC 運賃はなるべく差を設けて IC に誘導する取組を行っている。

・運賃の考え方についてですが、私は埼玉運輸支局として埼玉県内の30地域くらいの地域公共交通会議の委員として各市町村の会議に出ているが、コミュニティバスの運賃については各市がどのように考えるかだと思います。実際に今でもコミュニティバスを100円でやっている地域はある。熊谷などはいまだに100円でやっている。草加市の考え方である、既存の路線バスとの運賃格差をなくしてコミュニティバスであっても利用される方が負担をするという運賃設定の考え方は時代の流れだと思います。当初コミュニティバスというのが平成の頭の頃にスタートした時、100円のコミュニティバスを各地で走らせた。これは東京都武蔵野市のムーバスがコミュニティバスの発祥といわれているのだが、これがまさに100円運賃で運行を開始した。吉祥寺あたりの閑静な住宅街で、交通が不便な地域の生活道路に小さいバスを入れて、比較的狭隘な6mくらいの道路を100円で走っている。ムーバスは当初非常に人気で100円の運賃でも黒字になるくらいお客さんが乗っていた。各地でそれを真似して、埼玉県内でも100円のコミュニティバスがたくさんあったが、今は各地で市の負担が大きくなってしまい、運賃の見直しということで100円運賃を見直しているところがたくさんある。そのような中で草加市のコミュニティバスは比較的新しいので、最初から100円運賃ではスタートしていないのだが、私は各地の公共交通会議でそろそろもう少し利用者負担をさせて適正な運賃にしたほうがいいですよ。と会議で言っている。地域の路線バスとあまり運賃格差がありすぎると税金の使い道という話になってしまい、税金はいろいろなことに使われていて交通のことにだけ使われていることに対してよく思わない人も多くいる。そもそも自分のところにバスが通っていない人にしてみたら関係のない話である。地域の路線バスの価格とある程度相対した価格で皆さんにご利用をいただかないと、地域で将来にわたって維持していくことは難しく、バスというのはそれなりに利用負担しないと乗れないんですよということで、この運賃設定は私は妥当だと思う。

・ちなみにバスを維持できなくなって、今埼玉県内でもデマンド交通といわれる予約制のシステムを導入している地域が出てきているが、百数十円では乗れないです。デマンドの交通となると少なくとも300円から500円は負担しないと乗れません。それに比べて比較的低い金額で目的地に行けるわけですから、この運賃でバスを維持していくのはいいやり方なのではないかと思う。

会長（小谷会長）

- ・貴重なご意見ありがとうございます。ほかにありませんでしょうか。
- ・それでは地域公共交通会議内では消費税増税に伴い既存の路線バスが仮に値上げをした場合はそれに準じてコミュニティバスについても運賃を検討させていただいて運賃設定をしていくことで皆さんご了承いただいたということでよろしいでしょうか。

一同

<<承認>>

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。それではこれでご了承いただいたということで進めさせていただきます。それでは本日の主たる議事はこの案件だけですので、議事のほうは以上となります。

町会連合会（榎本委員）

- ・パリポリくんバスは5年計画という話がありまして、あと1年ですよね。これは先ほど言いましたように人が乗らなくなってきたらやめるということでよろしいんですか。

事務局

- ・5年目の最終年度でコミュニティバスの検証を行います。この会議の中で皆様に検証を行っていただくわけですが、その中の路線の評価として収支率から評価を行います。そしてもう一つ施策評価というものを考えております。こちらは例えば高年者の外出機会が多くなった・公共施設の利用率がバスを使ってくることで高まっているなどそういった施策全般の相対的な評価を用いて、最終的に今後コミュニティバスを廃止するかどうか最終年度である来年度に検討する予定となっております。榎本委員からご質問いただいた通り、収支率だけで判断していいのかという問題もあると思うので今後様々な資料を提供させていただく中でご検討いただければと思います。

会長（小谷会長）

- ・来年度最終年度ということでそこでまた皆様に審議していただければと思います。
- ・それでは進行を事務協に返します。

以上

署名欄

柳 政男

深津 光市